

S I D R

滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第 9 巻第 37 号

第 37 週(9月7日～9月13日)

発行年月日:平成21年(2009年)9月17日

発行:滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-7438 FAX 077-537-5548

今週の感染症発生動向

新型インフルエンザの集団発生は94件(9月16日現在、滋賀県) 「腸管出血性大腸菌感染症の多発警報」は解除

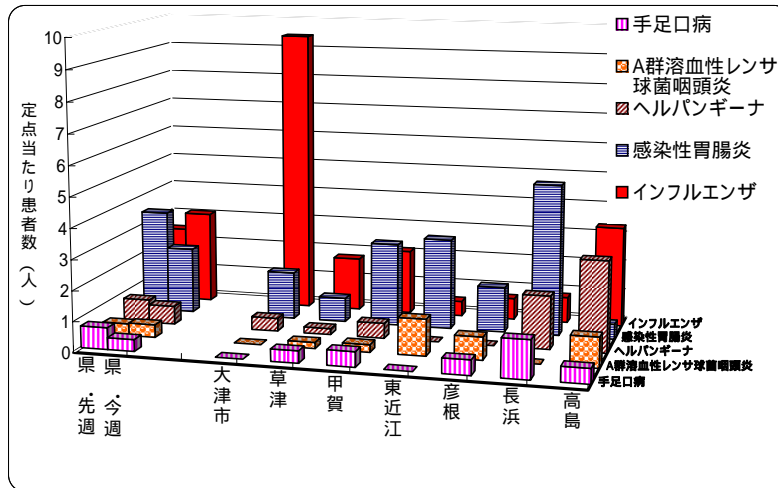
定点把握の対象となる五類感染症の患者報告数は、先週よりやや少なくなっています。今週増加した疾患はインフルエンザ、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)等で、減少した疾患は感染性胃腸炎、手足口病、ヘルパンギーナ等です(他の疾患については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

「腸管出血性大腸菌感染症の多発警報」については、本年度第2回目の警報が8月29日(土)から9月13日(日)まで発令されていましたが、9月14日(月)に解除されました。

「感染症発生動向調査に基づく感染症の警報・注意報システム」による保健所管内別の警報の発生状況については、先週に引き続きヘルパンギーナにおいて、高島で警報発生基準値を超えています。

全数把握対象疾患では、二類感染症の結核で3名、三類感染症の腸管出血性大腸菌感染症で1名、五類感染症の後天性免疫不全症候群で1名、麻しんで1名の届出がありました。

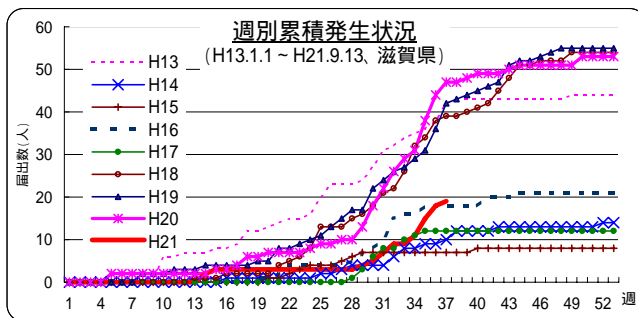
上位5疾患の発生状況(定点把握対象五類感染症、第37週、定点当たり患者数)



県全体における上位疾患の発生状況についてはグラフに示すとおり、インフルエンザ、感染性胃腸炎、ヘルパンギーナ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、手足口病の順に多くなっています。

インフルエンザの発生は県全体では先週より増加し、特に大津市で急増しています。ヘルパンギーナは高島で多い状態が続いています。

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況(平成16年～平成21年、滋賀県)



平成21年9月13日現在における届出数19名の内訳は、男性11名、女性8名、診断の類型は患者11名、無症状病原体保有者8名です。

血清型・毒素型は

O157・VT1&VT2 8名、O157・VT2 9名、O1・VT1 1名、O不明・VT1 1名です。

年齢は

0～9歳 6名、10～19歳 2名、20～29歳 2名、30～39歳 2名、40～49歳 1名、50～59歳 3名、60歳～ 3名です。

新型インフルエンザ発生状況(滋賀県)

クラスターサーベイランスにおける新型インフルエンザの集団発生は、9月16日現在で94件報告されています。保健所管内別では、大津市49件、草津12件、甲賀4件、東近江15件、彦根6件、長浜4件および高島4件となっています。特に9月7日以降は、小学校および中学校での発生が増加しています。

1) 全数報告の感染症(一類～五類)

滋賀県内の医療機関において、医師が感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断したとき医師は保健所に届出ることになっています。このことを全数報告といいます。届出により、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症を把握することができます。

感染症類型	疾患名	報告数 (37週)	累積報告数		平成20年報告数	
			滋賀 (37週)	全国 (37週)	滋賀	全国 ^(*)
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	3	194	18,667	282	28,419
三類感染症	細菌性赤痢	0	0	118 ^(*)2)	3	320
	腸管出血性大腸菌感染症	1	19	2,666	53	4,322
四類感染症	E型肝炎	0	1	35	0	43
	A型肝炎	0	0	93	3	170
	コクシジオイデス症	0	0	2	1	2
	デング熱	0	0	53	2	104
	マラリア	0	0	45	1	56
	レジオネラ症	0	4	491	10	893
五類感染症	アメーバ赤痢	0	9	564	10	872
	ウイルス性肝炎	0	1	159	5	241
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	2	92	2	152
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	2	85	1	113
	後天性免疫不全症候群	1	7	1,031	11	1,568
	ジアルジア症	0	0	54	1	76
	梅毒	0	1	498	5	839
	破傷風	0	2	76	5	123
	急性脳炎	0	1	170	1	190
	風しん	0	2	128	2	309
	麻しん	1	6	619	39	11,015
新型インフルエンザ等感染症	新型インフルエンザ(H1N1) ^(*)3)	- ^(*)4)	138	11,906	-	-

*1: 平成20年の全国報告数は、平成20年に滋賀県で報告された疾患を対象としています。

感染症発生動向調査事業年報暫定値(国立感染症研究所感染症情報センター)

*2: 検疫法第26条の3に基づく検疫所長から滋賀県知事への通知1件を含みます。

*3: 感染症法の一部改正(7月24日施行)により届出の対象となった報告数です(届出期間:7月24日～8月24日)。

*4: 感染症法の一部改正(8月25日施行)により届出が不要となったため、集計は行っていません。

全国における全数報告感染症の発生状況 - 第37週(9/7～9/13) -

一類感染症: 報告なし	四類感染症: 日本紅斑熱	4例	五類感染症: 後天性免疫不全症候群	8例
二類感染症: 結核	レジオネラ症	6例	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例
三類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症	アメーバ赤痢	8例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例
細菌性赤痢	梅毒	1例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2例
四類感染症: デング熱	ジアルジア症	1例	ウイルス性肝炎	1例
	急性脳炎	4例		
	麻しん	13例		

2) 定点把握の対象となる五類感染症

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症です。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一カ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。

(1) 疾病別・週別発生状況(平成21年第32～37週、8/3～9/13)

疾患名	定点当たり患者数 (前週より増加 前週と同じ 前週より減少)											
	32週		33週		34週		35週		36週		37週	
	(8/3～)	(8/10～)	(8/17～)	(8/24～)	(8/31～)	(9/7～)	33	34	35	36	37	
インフルエンザ	0.87	2.52	2.50	2.27	2.50	3.08						
RSウイルス感染症	0	0.03	0.03	0	0.03	0.03						
咽頭結膜熱(プール熱)	0.35	0.42	0.29	0.35	0.35	0.19						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.45	0.16	0.52	0.48	0.39	0.42						
感染性胃腸炎	3.23	3.13	2.61	3.13	3.42	2.19						
水痘	0.35	0.52	0.35	0.32	0.39	0.35						
手足口病	1.94	1.42	1.55	0.94	0.71	0.39						
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0.03	0	0	0.03	0.03						
突発性発疹	0.35	0.48	0.32	0.35	0.29	0.32						
百日咳	0	0	0.03	0	0	0.03						
ヘルパンギーナ	2.84	1.65	1.61	1.42	0.77	0.61						
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.39	0.29	0.26	0.35	0.19	0.35						
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0						
流行性角結膜炎	0	0.13	0	0	0	0						
細菌性髄膜炎	0.14	0.14	0.14	0	0	0						
無菌性髄膜炎	0.14	0	0.14	0.29	0	0.14						
マイコプラズマ肺炎	1.14	0.14	0.29	0	0	0.29						
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0						

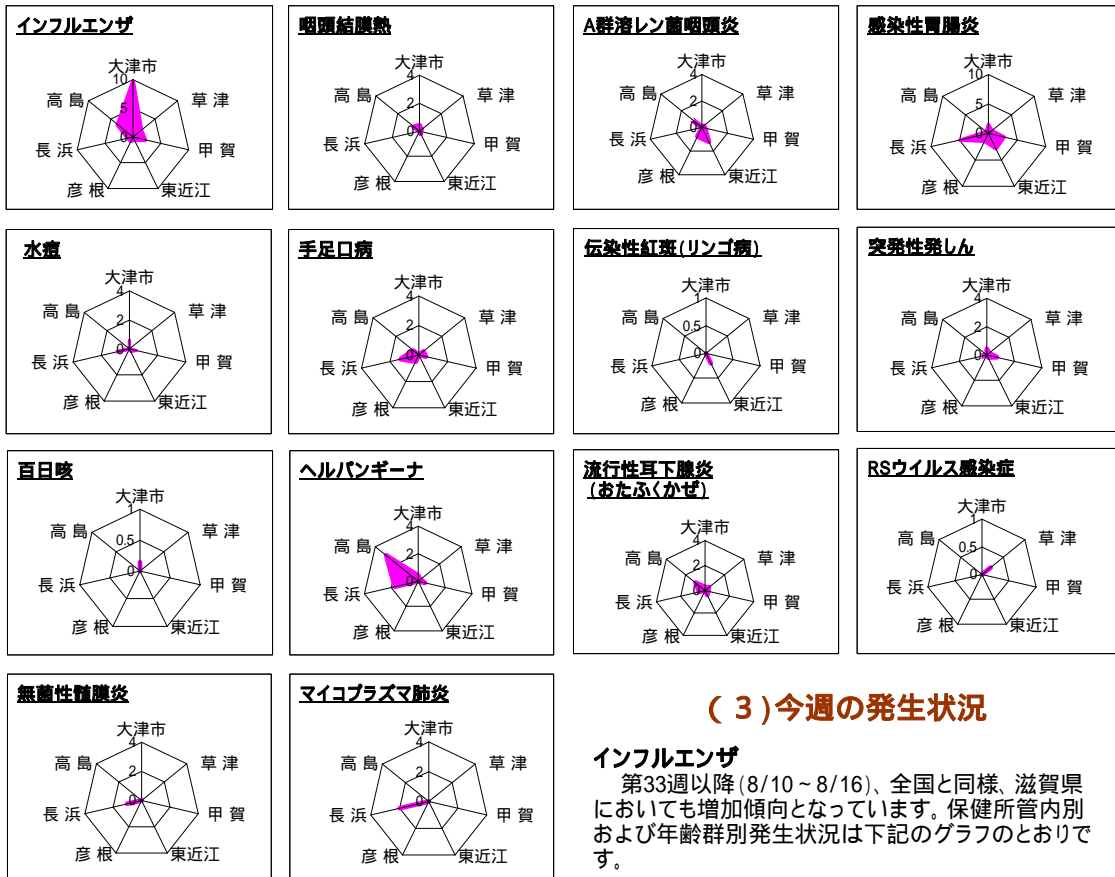
(2)疾病別・保健所管内別発生状況(第37週、9/7～9/13)

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)									疾患別発生状況(県全体)	
	県	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島			
インフルエンザ	3.08	9.45	1.78	2.14	0.50	0.71	0.86	3.33			
RSウイルス感染症	0.03	0	0.20	0	0	0	0	0			
咽頭結膜熱(プール熱)	0.19	0.43	0.20	0	0.20	0	0	0.50			
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.42	0	0.20	0.25	1.20	0.75	0	1.00			
感染性胃腸炎	2.19	1.57	0.80	2.75	3.00	1.50	5.00	0.50			
水痘	0.35	0.57	0	0.50	0.20	0	1.00	0			
手足口病	0.39	0	0.40	0.50	0	0.50	1.25	0.50			
伝染性紅斑(リンゴ病)	0.03	0	0	0	0.20	0	0	0			
突発性発しん	0.32	0.43	0.20	0.75	0.20	0	0.50	0			
百日咳	0.03	0.14	0	0	0	0	0	0			
ヘルパンギーナ	0.61	0.43	0.20	0.50	0	0	1.75	3.00			
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.35	0.29	0.40	0.25	0.40	0	0.50	1.00			
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0			
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0			
マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0	0	0	0	2.00	0			
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0			

■ は定点当たり患者数が先週より増加 ■ は警報発生中 ■ は注意報発生中

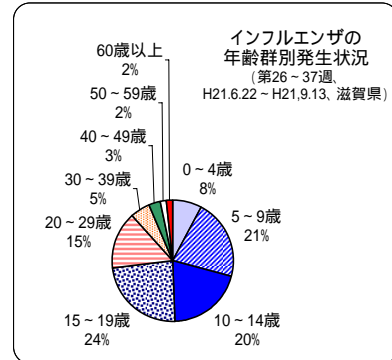
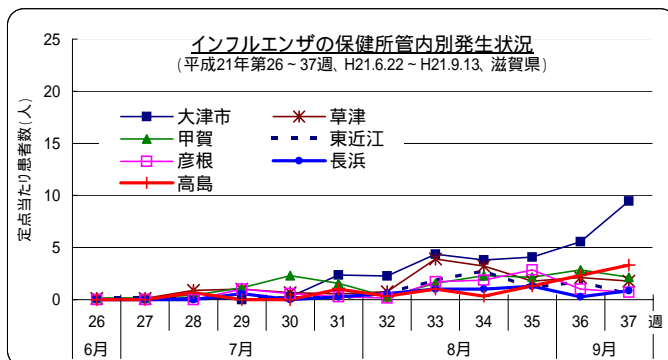
0 2 4 6
定点当たり患者数(人)

疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)

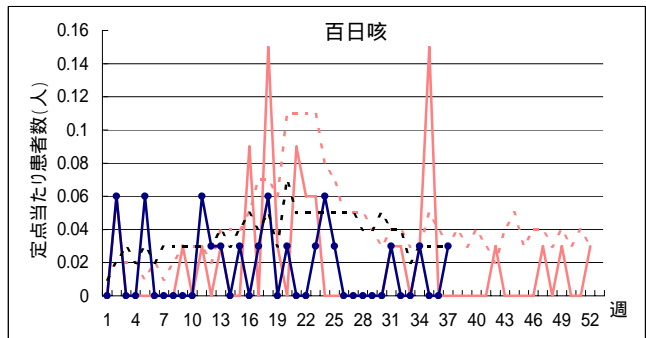
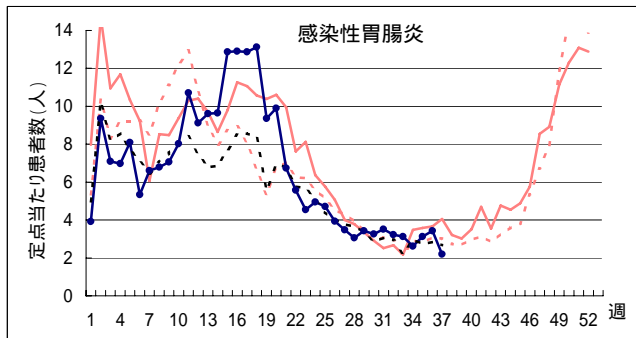
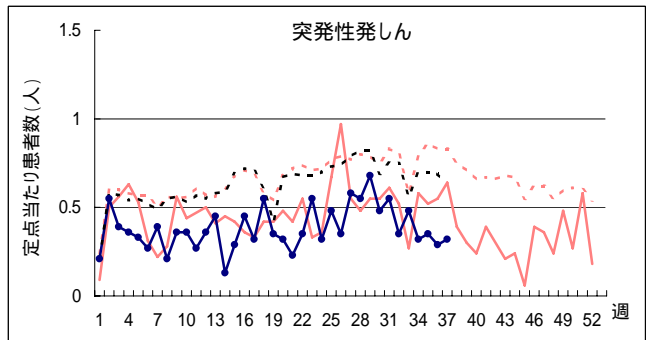
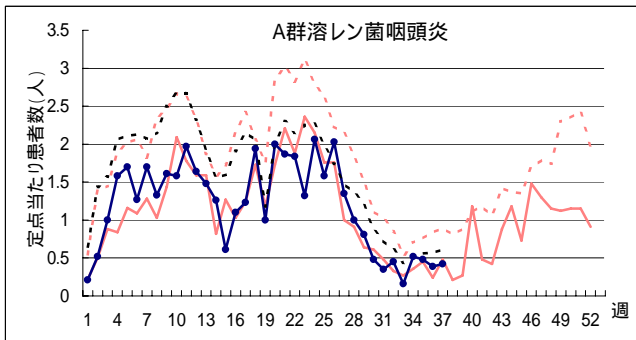
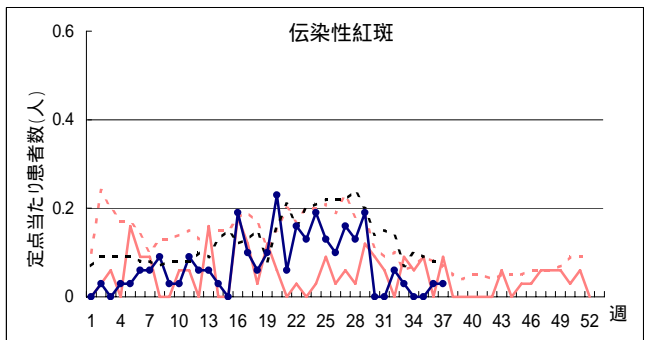
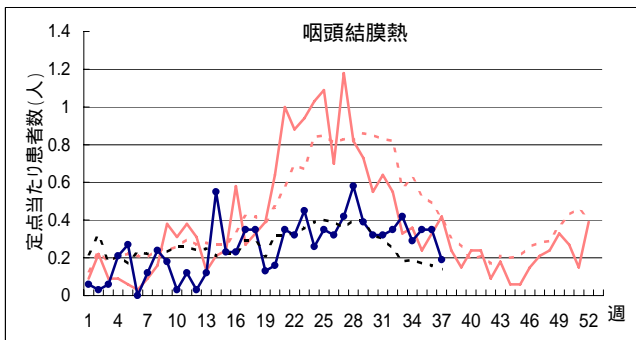
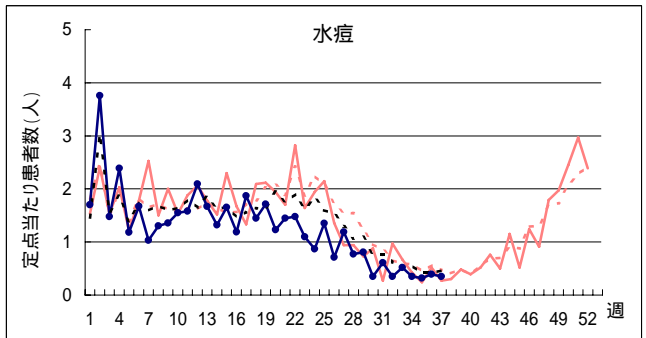
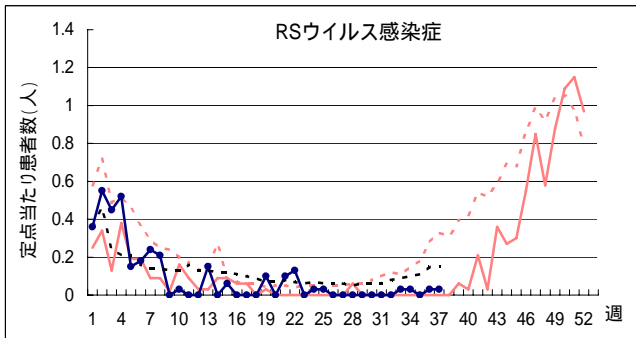
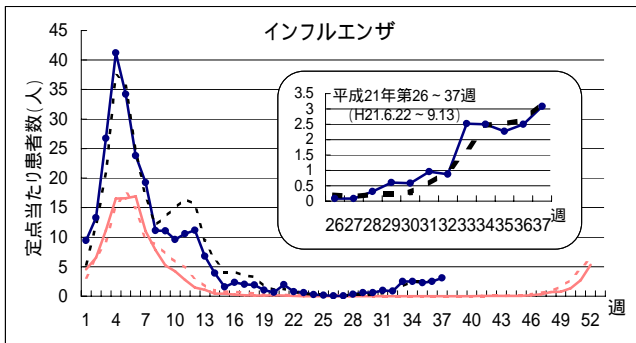


(3)今週の発生状況

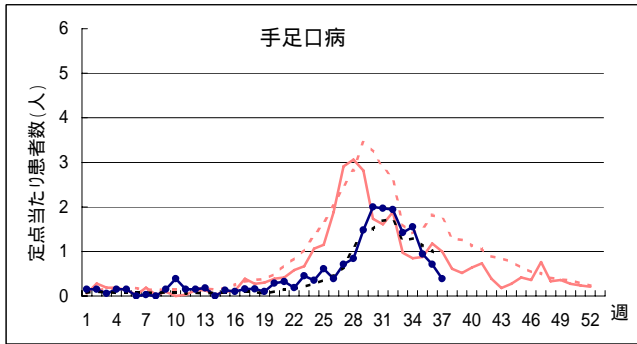
インフルエンザ
 第33週以降(8/10～8/16)、全国と同様、滋賀県においても増加傾向となっています。保健所管内および年齢群別発生状況は下記のグラフのとおりです。



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1~37週、H20.12.29~H21.9.13)



疾病別定点当たり患者数(平成21年第1～37週、H20.12.29～H21.9.13)



H20
 { 滋賀 ————
 全国 ······
 H21
 { 滋賀 ————
 全国 ······

